

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公開番号】特開2002-97045(P2002-97045A)

【公開日】平成14年4月2日(2002.4.2)

【出願番号】特願2000-291893(P2000-291893)

【国際特許分類】

C 04 B	14/04	(2006.01)
C 04 B	14/02	(2006.01)
C 04 B	14/06	(2006.01)
C 04 B	14/22	(2006.01)
C 04 B	20/10	(2006.01)
C 04 B	28/04	(2006.01)

【F I】

C 04 B	14/04	Z
C 04 B	14/02	B
C 04 B	14/06	
C 04 B	14/22	
C 04 B	20/10	
C 04 B	28/04	

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月15日(2006.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

セメント硬化体中の水酸化カルシウムと反応して水不溶性物を生成する薬剤を含む防水剤・止水剤・劣化抑制剤が混入された硬化体であることを特徴とするセメント硬化体用骨材。

【請求項2】

前記セメント硬化体中の水酸化カルシウムと反応して水不溶性物を生成する薬剤を含む防水剤・止水剤・劣化抑制剤と、必要に応じポルトランドセメントとを多孔質体より成る担体に担荷させたことを特徴とする請求項1記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項3】

前記セメント硬化体中の水酸化カルシウムと反応して水不溶性物を生成する薬剤を含む防水剤・止水剤・劣化抑制剤に、必要に応じポルトランドセメントを追加して得られた硬化体であることを特徴とする請求項1記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項4】

前記セメント硬化体中の水酸化カルシウムと反応して水不溶性物を生成する薬剤を含む防水剤・止水剤・劣化抑制剤に、必要に応じポルトランドセメントを追加し、これに水を加えて得られた硬化体であることを特徴とする請求項1記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項5】

前記セメント硬化体中の水酸化カルシウムと反応して水不溶性物を生成する薬剤を含む防水剤・止水剤・劣化抑制剤に、必要に応じポルトランドセメントを追加し、これに水と砂を加えて得られた硬化体であることを特徴とする請求項1記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項 6】

前記セメント硬化体中の水酸化カルシウムと反応して水不溶性物を生成する薬剤を含む防水剤・止水剤・劣化抑制剤に、必要に応じポルトランドセメントを追加し、これに水と砂とファイバ-を加えて得られた硬化体であることを特徴とする請求項1記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項 7】

前記担体が、空孔径0.01~3mm、空孔率5~60Vol%、圧縮強度30kg/cm²以上の多孔質体であることを特徴とする請求項2記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項 8】

前記硬化体が、押圧固化された後、ポルトランドセメントの水和反応により硬化したものであることを特徴とする請求項1、3、4、5、6のいずれか1項に記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項 9】

前記硬化体が、吐出用ノズルにより押し出し成形された連続体を切断し固化体とした後、ポルトランドセメントの水和反応により硬化したものであることを特徴とする請求項1、3、4、5、6のいずれか1項に記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項 10】

前記硬化体が、錠剤形状のものまたは棒状体の固化体を使用したものであることを特徴とする請求項1、3、4、5、6、8、9のいずれか1項に記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項 11】

セメントコンクリートに使用されるものであって、粒径が0.5~45mmであることを特徴とする請求項1乃至10のいずれか1項に記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項 12】

セメントモルタルに使用されるものであって、粒径が0.5~5mmであることを特徴とする請求項1乃至10のいずれか1項に記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項 13】

前記押圧固化が、面圧50kg/cm²以上あるいは線圧200kg/cm以上の圧力で成されることを特徴とする請求項8記載のセメント硬化体用骨材。

【請求項 14】

請求項1乃至13のいずれか1項に記載のセメント硬化体用骨材を含むことを特徴とするセメント硬化体。